

2017 年度課題研究会活動成果報告書

課題研究会名：患者プロフィール情報基盤研究会

設置期間：2018 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

代表幹事の氏名・所属：近藤博史・鳥取大学医学部附属病院医療情報部

(副代表幹事)：栗原幸男・高知大学医学部看護学科

幹事の氏名・所属：石川 澄・社会医療法人社団沼南会沼隈病院

石田 博・山口大学大学院医学系研究科

木村映善・愛媛大学大学院医学研究科

(現在の所属 国立保健医療科学院)

合地 明・井原市立井原市民病院

島井健一郎・千葉大学医学部附属病院企画情報部

田中武志・広島大学病院

中島典明・高知大学医学部附属医学情報センター

(現在の所属 国立がん研究センター)

大原通宏・日本電気株式会社

高井康平・日本アイ・ビー・エム株式会社

清水 健・富士通株式会社

活動成果の概要：

1. 取組を発展させるための検討

研究会内で 2 回の検討会を開催した。1 回目は幹事会の全体会議であり、課題研究会第 2 期目の活動方針を検討した。2 回目は幹事会コアメンバーによる次年度計画検討会であった。

幹事会全体会議は平成 29 年 6 月 10 日および 6 月 11 日に岡山市において開催し、幹事 11 名とオブザーバ 1 名の参加があった。患者プロフィール情報 (Patient Profile Information: PPI) の標準化を進めて行く方法について検討し、2015 年に作成した暫定標準データ項目セットの構造化と項目見直しを他団体の標準化の取組を注視しながら進めることになった。なお、データの構造化については、受け入れ易さから SS-MIX2 の拡張ストレージを検討する案と、データ利用のし易さの観点から XML での構造化も考えるべきとの意見が出て、明確な方針は確定しなかった。

幹事会コアメンバー 4 名 (近藤、栗原、石田、木村) での検討会は平成 30 年 2 月

12日に岡山市において開催した。次年度計画でのPPIの標準データ項目の確立に向けた取組として、全国61病院での調査から得られた共通性の高いデータ項目からなる基本データ項目群と利用目的等に依存する詳細データ項目群に分けて、標準化を進めることを中心に検討が行われた。2データ項目群に分けて検討することについては合意できたが、分け方やデータ項目の設定の仕方については、目的別に提案されているデータセット（退院時要約、疾患ミニマム項目セット等）やFHIR・openEHR等で定義されているデータモデルを参考にしながら、広く検討することになった。

2. 患者プロフィール情報の標準化啓発の取組

大阪開催の医療情報学連合大会でワークショップ「患者プロフィール情報（PPI）をどう入力し、どう見せ・活用するか」を企画した（2017年11月23日実施）。本課題研究会でのこれまでの調査から、医療機関間（61病院の調査）で設定しているPPIデータ項目がかなりばらついていること、また設定されているデータ項目のデータ登録率（3大学病院での調査）が入院患者でも50%を超える項目は40%未満であり、外来患者では10%を超える項目としても20%未満であることを示した。これを受けてこの企画では、各医療機関でのPPIデータ登録率を向上させると共に地域医療機関でPPIデータを共有することで、医療者が患者の背景情報を的確に把握できる、あるいは医療者を支援できる環境を確立するためには、今何をすることが必要かを検討することとした。

PPIデータ登録率を向上させるとして、外来初診時の問診票を患者にタブレット入力してもらい、医療者が確認してデータベースに登録することや、処方オーダーや放射線検査オーダーの際にアレルギーの有無や障害の有無等が登録されていないとオーダーが実施できない運用を紹介し、そのような運用に関わるPPIデータ項目の登録率が高いことを報告した。また、PPIデータを見せる方法として、PPI全体が俯瞰できる画面を用意し、PPIデータを利用し易くしたシステムの紹介を行った。電子カルテのプログレスノートに記載されているが、PPIデータベースには反映されていないと言う問題への対策として、テンプレート入力をPPIデータ項目とリンクする方法やプログレスノートの記載データをXML形式で登録し、そこからPPIデータ項目を拾い上げる方法の紹介を行った。

1 医療機関で把握できるPPIデータ項目は多くはないので、PPIデータの共有が必要になるが、PPIデータ記載はデータ項目名だけでは同じ内容にならないものが多い。データ区分を明確化し、コード化を進める必要性を説明した。また、薬剤アレルギーではアレルギーとなる薬剤名をリストアップするブラックリスト以外に、使用可能な薬剤名をリストアップするホワイトリストも検討すべきではないかとの提案を行った。

活動成果の発表：

[雑誌論文] 計 (3) 件

- ①栗原幸男, 石田 博, 檜部公一, 木村映善, 島井健一郎, 田中武志, 丹下正章, 中島典昭: 患者プロフィール情報管理の課題と改善策, 医療情報学, 37 (3):125-133, 2017.
- ②栗原幸男, 近藤博史, 石田 博, 木村映善, 他: 患者プロフィール情報 (PPI) をどう入力し、どう見せ・活用するか, 医療情報学, 37 (Supplement): 279-282, 2017.
- ③栗原幸男, 石田 博, 木村映善, 近藤博史, 他: 実態調査に基づく患者プロフィール情報の実用的な標準規格の検討, 医療情報学, 37 (Supplement): 462-465, 2017.

[学会発表] 計 (6) 件

- ①栗原幸男, 石田 博, 木村映善, 近藤博史, 他: PPI の入出力についての課題研究会検討報告, 第 37 回医療情報学連合大会, 大阪, 2017.
- ②近藤博史: 患者プロフィール情報の標準化の方向性, 第 37 回医療情報学連合大会, 大阪, 2017.
- ③木村映善: 医療安全の推進に向けた PPI 導入と対応分類の提案 (指定発言), 第 37 回医療情報学連合大会, 大阪, 2017.
- ④清水 健: 患者プロフィール表示の改良と山口大学病院様における患者プロフィールの工夫 (指定発言), 第 37 回医療情報学連合大会, 大阪, 2017.
- ⑤高井康平: データの構造化について (入力と格納) (指定発言), 第 37 回医療情報学連合大会, 大阪, 2017.
- ⑥栗原幸男, 石田 博, 木村映善, 近藤博史, 他: 実態調査に基づく患者プロフィール情報の実用的な標準規格の検討, 第 37 回医療情報学連合大会, 大阪, 2017.